

民衆の声
ボイス

No.105

公明党 横浜市会ニュース

Voiceよこはま

http://www.yhkomei.com/ E-mail:shikai@yhkomei.com 公明党横浜市会議員団 〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10 TEL.671-3023 FAX.681-2060

令和6年度 横浜市予算要望書を提出

公明党横浜市会議員団は、10月18日、令和6年度予算編成に対する要望書を山中竹春横浜市長へ提出。日常の広聴活動や団体との政策懇談会などで頂いたお声を、「防災・減災」「子育て」「高齢者福祉」など347項目の政策要望として構成したものです。市長より「しっかりと受け止め、予算編成に反映する」旨、応えて頂きました。



上瀬谷のまちづくり 郊外部の新たな活性化拠点

GREEN×EXPO 2027を開催

横浜発の万博として「新しいグリーン万博」を開催。自然・人・社会が共に持続するための最適解を横浜・日本から発信し、持続可能な地域・経済の創造や社会的な課題解決に貢献する万博を目指しています。



上瀬谷「観光・賑わい地区」の事業者予定者が決定

このほど事業者予定者が、三菱地所（株）（東京都）に決定。ジャパンコンテンツと最先端のジャパンテクノロジーを活用した次世代型テーマパークとして、2031年頃にオープンする計画。将来的に1500万人の来場者を目指しています。



公明党五大市政政策研究会を開催

横浜・大阪・神戸・名古屋・京都の五大市公明党による「行政のデジタル化推進」についての政策研究会を神戸市内で開催。デジタル化加速の国への要望に繋がります。



お悔やみ窓口をモデル設置へ 実績！

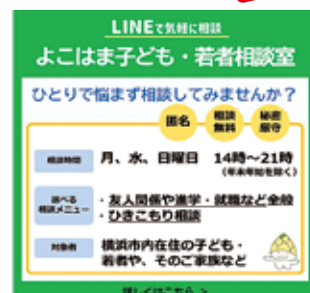
死亡に伴う煩雑な手続きの負担軽減へ、各種申請書の作成、補助、受付をワンストップで行う専用窓口の設置を要望。来年1月からモデル区（鶴見区・瀬谷区）で実施されます。

ケアマネジャーを守る窓口を検討！

ケアマネジャーの人材確保、離職防止へ、処遇改善と合わせて、ケアマネジャーを過剰な要求やハラスメントから守るための対策を要望。処遇改善に向けた国への要望とともに、相談窓口の設置が検討されます。

LINEで子ども・若者相談がスタート 実績！

公明党市議団は「子ども・若者がより相談しやすい環境整備にLINEを活用すべき」と訴えていたもので、相談者に寄り添った運用が期待されます。



アクションレポート VOL.18

小さな声を聴く力 声をカタチに！

HP <https://www.k-kubo.yokohama/> BLOG <https://k-kubo.jugem.jp/>

久保かずひろ政務活動事務所
代表 久保かずひろ
横浜市議員（瀬谷区選出）
〒246-0031
横浜市瀬谷区瀬谷 1-20-7
真和瀬谷ビル II 102
Tel.045-298-6845
Fax.045-330-6151

令和4年度 決算特別委員会より報告

上川井インター・ニッ橋上橋交差点

八王子街道の上川井インター付近、中原街道のニッ橋交差点付近について質問。
市は「①八王子街道の保土ヶ谷バイパスから東名高速道路を渡る瀬谷橋までの区間の4車線化。②瀬谷地内線の中原街道から相模鉄道立体交差するまでの区間の新設に向けての用地取得。③9月末からは保土ヶ谷バイパスの上川井IC出口の改良工事。④10月末からは八王子街道の拡幅工事にも着手する」と応えました。



目黒交番前交差点の立体化

八王子街道と環状4号線が交差する目黒交番前交差点付近の立体化事業も取り上げ、市は「①環状4号線の2車線を高架にして八王子街道と立体交差させる。②R6年度に工事着手して、博覧会開催までの供用開始を目指す」と具体的に明言しました。

目黒交番前交差点の立体化 環状4号線を一部高架化へ



令和6年度工事着工

新たなインターチェンジ

上瀬谷地区と東名高速道路を直結させる「新たなIC」は、利便性向上と渋滞緩和につながると提言。市は「①市西部地域の高速道路へのアクセスの向上、横浜町田IC周辺の混雑緩和などを目的に検討している。②線形や構造などの設計を進めている。③交通需要が多いと見込まれる新しい土地利用の中でできる地区などへスムーズにアクセスできるよう接続の位置を検討している」と応えました。

まちの新たな地震火災対策を推進

今年には関東大震災から100年を迎えます。大規模地震が発生した際には、本市では火災による被害が大きいと想定されており、情報を知らずとだけではなく、グループマップのような3D化やAR化したもので疑似体験する取組を提案し、地震火災の危険性を自分事化するために、デジタル分野の新たな技術を活用すべきと訴えました。

局長は、「今後も、3Dなどのデジタル技術の活用も幅広く検討していく」と応えました。

今回の質疑（都市整備局・建築局）からの実績トピックス

●上瀬谷の新たなまちづくりで防災力向上

◆大規模災害発生時での広域避難場所、広域応援活動拠点の機能（自衛隊等の応援部隊を受け入れ）を確保。
◆帰宅困難者の受入や周辺住民への災害備蓄品の提供。

●上瀬谷を郊外部の脱炭素化のモデル地区へと提案

再生可能エネルギーやカーボンフリー燃料の導入によるエネルギーの転換、スケールメリットを生かしたエネルギー循環の導入による脱炭素社会への都市モデルに推進。

●GREEN×EXPO 2027の輸送計画

①近隣4駅からのシャトルバス輸送、②アクセスルートを利用タイムに情報発信、③経路の分散化、④多客日にはパークアンドライドの会場周辺への交通流入の抑制など検討。

●ニッ橋北部地区の区画整理事業で安全な街づくり

三ツ境下草柳線の地形勾配を緩やかにする取組み、無電柱化、区画道路の整備、相沢川の浸水被害を防ぐ雨水調整池の整備を推進。

●マンション（集合住宅）の防災力向上を

よこはま防災力向上マンション認定制度推進による、

防災対策支援の新たな手引きの策定や認定促進の推進。

●公共建築物の脱炭素化を推進

環境性能の強化に向けて低コスト・高効率な手法の導入、及び耐震性や断熱性に優れた木材（CLT等）の導入の推進。

●市営住宅の高齢化対策を推進

◆市による共用部分の代行管理と、共益費の徴収を行う新たな制度導入の実現。新制度の説明動画・DVDの作成を提案し、全ての管理運営委員会に配布を実施。

◆新制度導入に向けて、共益費値上げを避けるためのコスト抑制策の提案。

●市営住宅の温暖化対策をカタチに

照明のLED化と太陽光発電システムの設置を推進。

●セーフティネット住宅の充実を推進

子育て世代への取組み、入居前から入居後までの切れ目のない支援として、住宅施策と福祉施策の連携の充実を実施。

LINE
募集！！

プロフィール

◆1973年11月生まれ、兵庫県神戸市出身 ◆神戸大学卒 ◆国際物流・貿易関係企業などを経て、再生可能エネルギー関連企業に勤務 ◆党神奈川県本部青年局長、党瀬谷支部支部長 ◆横浜市会／子ども青少年・教育委員会、デジタル化推進特別委員会、議会広報会議、神奈川県後期高齢者医療広域連合協議会議員 ◆妻と長女、長男の4人家族 ◆R3・R4年度 横浜市立原中学校 PTA 会長 ◆防災士

政務活動最前線

子育てを孤立させない取組推進へ

国のモデル事業として未就園児の定期預かりを行うシャローム保育園（青葉区）を訪問し、利用状況や利用者からの反響、課題等を聴取。本格実施に向けてより利用しやすい制度構築を模索します。



ごみ焼却工場のCO2活用へ

鶴見焼却場を訪問し、三菱重工・東京ガスと連携して実施するCCU（CO2回収→メタン製造）実証実験の取組を視察。ごみ処理においてプラスチック由来のCO2発生比率が高く、実効性の高い温暖化対策へCO2回収・活用技術の確立が欠かせません。



校内に不登校生徒の「居場所」を提供

橘中学校で行っている「校内ハートフル事業」等を視察。本市では現在、55校に教育支援センターを設置。各校が教科担任による個別指導や、オンライン教材を活用して生徒支援を、2025年度までに全中学校への設置を目指しています。



アレルギー対策強化へ

横浜市に住む、1人のお母さんから受けた相談をきっかけにして、公明党が長年取り組んできたアレルギー対策。市の拠点病院である、みなと赤十字病院アレルギーセンターを訪問し、機能充実にに向けて意見を交わしました。



令和4年度決算特別委員会の論戦より

決算特別委員会総合審査



「公園の早期、禁煙化を推進」
行田 朝仁（青葉区選出）

長年訴えてきた受動喫煙対策。横浜市は今夏、公園のあり方についてアンケート調査を実施。子育て世代では8割超の方が公園での喫煙は迷惑と回答。そこで「早期に公園を禁煙とすべき」と訴えました。

市長は「市内5つの公園で10月中旬から約1か月間、園内禁煙を試行する。来園者へのアンケート等を実施し、結果を踏まえ、実効性のある対策を確実に進める」と応じました。



条例化も視野に「横浜の公園は禁煙」の実現を目指します。

交通局 「南部病院再整備でのアクセスの向上を」



「南部病院再整備でのアクセスの向上を」
安西 英俊（港南区選出）

南部病院再整備に伴い、1.4km離れた場所に移転となります。通院者等の利便性や費用負担などを考慮し、既存のバス路線の充実や、無料のシャトルバスを用意すべきであると考え、「アクセス向上支援の観点から、どう進めていくのか」伺いました。

副市長は「アクセス手段や交通対策なども含め、病院利用者の利便性などを高めるための最良の手法について、検討を重ねながら事業を進めていく」と答弁しました。



水道局 「安全で良質な水を」



「安全で良質な水を」
木内 秀（旭区選出）

本市浄水場の水源である馬入川（相模川）での工場排水による水質汚染について、本年3月に流入する河川から有機フッ素化合物が検出されたとの報道もあり、今後の取組の強化について伺いました。

局長は、「流入する河川や水路でも測定し、検出の際には、発生源の調査を行う、また降雨時での河川流入も考慮して、原水の変化について調査する。さらに、効率的な監視強化に向けて県内の水道事業者と測定を行っていく」と答弁しました。

資源循環局 「必要とする方にふれあい収集を」



「必要とする方にふれあい収集を」
斉藤 伸（保土ヶ谷区選出）

集積場所までごみを持ち出すことが困難なひとり暮らしの高齢者等を対象として、玄関先まで職員が訪問しごみの収集を行う「ふれあい収集」。高齢化が進み利用者は年々増加しており、なくてはならない取り組みと考え、必要な方が確実に利用できるように対応すべきと訴えました。

局長は、「希望される方へ漏れなくサービスを提供できるよう、しっかりと工夫をしながら取り組んでいく」と応じました。



市民局 「学生や現役世代の地域活動への参加」



「学生や現役世代の地域活動への参加」
武田 勝久（磯子区選出）

自治会町内会役員の高齢化や地域活動に興味・関心を持つ学生や現役世代の方が参加しやすい環境づくりが重要です。イベントやボランティア募集等に興味を持つ若い方が、必要な地域情報を得られる取組について質問しました。

局長より「デジタル技術で地域情報を一元化・一覧化するとともに、地域活動に関心のある皆様へ、欲しい情報を分かりやすく届けることから対応していきたい」との答弁がありました。

教育委員会



「グローバル教育の推進」
市来 栄美子（都筑区選出）

グローバル人材の育成には、単に目に見える評価だけでなく、多様な文化や違いを受入れた上で、社会へ貢献できる心を育む教育が重要と考え、今後の取組について質問しました。

教育長は、「国際会議などのボランティア等など機会を増やし、英語による実践的な能力やグローバル社会への興味を高める。国際理解の取組では、オンラインも活用し、より多くの国の文化や生活に触れる機会の拡充を検討していく」と答弁しました。

建築局



「市営住宅共用部分の負担軽減を」
久保 和弘（瀬谷区選出）

市営住宅での共用部分の代行管理とにかかる共益費の徴収を、横浜市が担う新たな制度について、共益費の値上げにならないようにコストを抑制するように求めました。

局長は、「清掃の代行にかかるコストは、業務内容・範囲、作業スケジュールの効率化を徹底することで抑制し、代行管理メニューの計画作成には、負担可能な金額のプランや見積額を提案し、満足度の高い内容として支援していく」と答弁し、令和6年12月からの開始も可能とすると応じました。



財政局 「税務手続のデジタル化で利便性の向上を」



「税務手続のデジタル化で利便性の向上を」
仁田 昌寿（南区選出）

申告と納税という税務手続の利便性向上には、継続したデジタル化の推進が必要と主張し、今後実施予定の税務手続を質問しました。

局長から、①令和7年1月から、住民税の電子申告を開始。②令和6年度分から、住民税の納税通知書に印字されたQRコードによる電子納税を開始。③令和6年度から、会社員向けに現在紙で配られている個人住民税の特別徴収税額通知書の電子化を開始する旨、新たに3つの手続をデジタル化するとの答弁を得ました。